

2022年度 あらぐさ後援会総会のご報告

平素は、あらぐさ福祉会の事業、あらぐさ後援会の活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。あらぐさ後援会総会は、2年間、コロナ禍により見合わせてきましたが、2022年6月4日（土）、3年ぶりに障害福祉センターあらぐさ1階ホールにて開催することができました。当日は57名が出席され、1号議案、2号議案、3号議案について承認されました。また、あらぐさ後援会の変遷をスライドにより上映し、これまでの多彩な歩みを振り返り、今後の活動を確認しました。今年度も、ご支援ご協力のほど、よろしく願いいたします。

1号議案 2021年度事業報告・決算報告・監査報告

1 2021年度 事業報告

あらぐさ後援会では、3つの専門部(事業部・広報部・組織部)を中心として、あらぐさ福祉会の事業への支援と、「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり」を支援することを目的として、次の活動を展開しています。

1. 後援会イベント「みんなおいでよーあらぐさひろば」について

これまで、地域交流イベントとして、後援会役員、構成員の総力を結集して「みんなおいでよーあらぐさひろば」を開催してきました。しかし、2021年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を見合わせました。

「あらぐさひろば」は、あらぐさ福祉会の事業と、誰もが暮らしやすいまちづくりを応援する個人、団体が集まってつくる参加型のイベントをめざし、地域の諸団体に協力を呼びかけてきました。一昨年までは京都イブニングロータリークラブ、長岡京金管アンサンブル「筍」、京都西山短期大学仏教学科学生、向日が丘支援学校分会、和太鼓でんでん、村上フラススタジオのみなさん、「ひまわり保育園」をつくる会、乙訓不登校を考える親の会大地、青年サークル「げんごろう」、ぱんだ企画、あらぐさ会、あらぐさ福祉会職員、計12団体の参加を得て、開催していました。

2. 事業部活動

(1) あらぐさ支援募金の取り組み

後援会の入会の呼びかけとともに、支援募金も引き続き行いました。個人、会社、医院、商店からの募金のほか、あらぐさ利用者と職員とで構成している「ぱんだ企画」からも、年間に数回取り組んだ応援グッズ販売活動の売上げを募金していただきました。

募金件数は299件（前年度は325件）、支援募金額は105万942円（前年度は111万7993円）になりました。

2011年度より取り組んでいる、このあらぐさ支援募金は、多くの支援者のご協力をいただき、あらぐさ福祉会へ施設整備支援の寄付を続けることができています。その累計総額は後援会会計からの寄付（2010年より）と合わせると、16,578,626円に達しました。

(2) 「リモートひろば」の企画、実施について

あらぐさ通信誌上で、「リモートひろば」を企画しました。景品付きのクロスワードパズルと自主製品で構成された福引きの抽選会を実施しました。81通の応募が寄せられ、当選者からは喜びのメールなども寄せられていました。また、応募ハガキのメッセージ欄に沢山の返信が寄せら

れたこともあり、通信に掲載して読者に紹介しています。双方向な交流の企画として、コロナ禍で直接の交流が難しくなる中でも、繋がりを維持していくことの大切さに改めて気付かされた企画でした。

3. 広報部活動

1) 「あらぐさ通信」を計画通り、定期的に発行しました。

- (1) 編集会議（6回開催）で企画を立て協議しながら、6月、9月、1月に3回発行（No. 109～111）しました。また、第3種郵便物の利点を活かして、きょうされん国会請願署名用紙などを、通信の付録として同封しました。
- (2) 通信の紙面は、会員からなる通信編集委員により、企画、取材、原稿依頼等を実施し、作成しています。印刷や住所のラベル貼り、封入などは、障害福祉センターあらぐさの利用者さんたちに、仕事として発注し作業を担っていただいています。
- (3) 通信の内容は、表紙で利用者さんのスナップ写真、利用者さんの地域生活（3名の方に登場頂きました）、あらぐさと私（職員3名）、リモートひろば、法人からの報告（決算報告等）、とっておきの一枚、作品の紹介、作品展の告知などでした。写真や記事内容に含まれる個人情報については、慎重に確認しながら掲載しています。

2) あらぐさのホームページ (<http://www.aragusa-fukushi.jp>) で、通信のバックナンバーを見ることができます。

4. 組織部活動

2021年度の会員数は428団体個人（前年度、417団体個人）、会費合計67万円でした。前年度（64万円1000円）を上回る会員のみなさんに支えて頂きました。会員の更新（会費の納入）をいかに継続していただけるかが、組織部の大きな課題です。通信を手渡しの方には直接更新を呼びかけ、郵送の方には紙面上でもお願いしてきました。多くの皆様には、通信が年3回届く間に更新をいただきました。

しかし、長きに渡って更新が途切れている方については、通信の発送を見合わせざるを得ませんでした。今後も、後援会費により通信発送や後援会のイベント、法人への支援や寄付が支えられていることにご理解をいただき、更新の呼びかけを続けていきます。

2 2021年度あらぐさ後援会決算報告

1. 2021年度 あらぐさ後援会 決算書

収入				支出			
	予算	決算	内容		予算	決算	内容
前年度繰越金	157,463	157,463		通信経費	200,000	184,889	通信経費
会費収入	700,000	670,000		事業費	250,000	182,090	リモートひろば
事業収入	100,000	20,000	ひろば補助	事務費	100,000	81,345	振込手数料
利子		2	通帳利子	予備費	157,463	0	
				寄付	250,000	250,000	法人へ寄附
計	957,463	847,465		計	957,463	698,324	

運営費より 250,000

円をあらぐさ福祉会施設整備の資金として寄付いたします。

収支差額 149,141

円は、2022年度あらぐさ後援会会計に繰越します。

2. 2021年度 あらぐさ支援募金

自：2021年4月1日 至：2022年3月31日

募金件数 299件

支援募金総額 1,050,942円

3. 社会福祉法人あらぐさ福祉会への寄附総額

1,後援会会計より	250,000
2,あらぐさ支援募金より	1,050,942
計	1,300,942

3.監査報告 会計監査(岩崎恭子・大江文子)より、監査の結果適正に処理されていることが報告されました。

2号議案 2022年度事業計画・予算案

1 2022年度 事業計画

あらぐさ後援会では、無認可共同作業所の立ち上げに込められた思いと、法人の理念の実現を支える為に、今年度も地域に発信していく役割の一翼を担っていきたくと考えています。今年度も、3つの専門部(事業部・広報部・組織部)を中心として、あらぐさ福祉会の事業へのさらなる支援と、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを支援することを目的として、次の活動を展開します。

1. 第8回「みんなおいでよーあらぐさひろば」を開催します

日程 2022年10月1日(土) 場所 障害福祉センターあらぐさ

後援会会員のみなさんと周辺地域住民の方々をおもてなしする行事として、「みんなおいでよーあらぐさひろば」を開催します。「障害を持っている人たち、お年寄りや子供たちにとって住みやすい街は、誰にとっても住みやすい街になるはず」という思いをもとに、地域の諸団体に参加を呼びかけ、共に楽しい「あらぐさひろば」をつくります。

今年度は新型コロナ感染予防に配慮して、開催時間や企画内容、コーナー配置など慎重に検討していきます。密を避けるため、飲食物の提供はせず、従来の取り組みにこだわらず、企画の内容を一新していきます。

なお、感染状況が深刻な状態に陥った場合は関係機関とも相談の上、中止も検討します。

2. 事業部活動

(1) あらぐさ支援募金の取り組み

「くらしの場」づくりの施設整備を支援するため、恒常的に支援をすることを目的に、「あらぐさ支援募金」を訴えます。

あらぐさ支援募金	1口	1,000円
今年度目標額		100万円

(2) 後援会独自の資金づくりの取り組み

後援会独自で物品販売等に取り組み、地域に支援を発信します。

3. 広報部活動

編集会議（広報部役員と会員による編集委員）で協議し、あらぐさ通信を定期的に発行します。

第3種郵便に必要な手続きを踏まえて、A4版への移行を進めていきます。

- (1) 「あらぐさ通信」は、あらぐさ福祉会と協力して編集・発行します。後援会の活動を紹介し後援会を結ぶ機関誌として、また、あらぐさの事業や実践を広く市民の方々に知っていただくための広報誌（情報誌）としての役割を果たしていきます。
- (2) あらぐさ後援会員の感想を把握しながら、あらぐさの活動、地域での生活、後援会活動、障害者運動などを分かりやすく発信します。
- (3) 発行計画
 - ・ 体裁等 B5 横書き 8ページ建て 必要に応じて「付録」を利用する
 - ・ 発行部数／印刷 1,100部 印刷と発送作業をあらぐさに委託する
 - ・ 第3種郵便物で発送する 年間計画 年3回（6・10・2月頃）
- (4) 年間の企画
 - ・ 利用者さんの地域での生活 ・ あらぐさと私 ・ とっておきの一枚 ・ 作品紹介
 - ・ 障害者運動の動向 ・ 後援会活動 ・ グループ活動の紹介・法人報告 など

4. 組織部活動

会員ならびに支援募金の協力者を合わせて、500名を目標にめざします。

地域の諸団体と交流を図りながら、「あらぐさ通信」の読者を広め、入会者を増やしていくような活動をつくっていきます。

2 2022年度 あらぐさ後援会 予算書

自：2022年4月1日 至：2023年3月31日

収入		支出	
前年度繰越金	149,141	あらぐさ通信経費	200,000
会費収入	700,000	事業費	250,000
事業収入	100,000	事務費	100,000
		予備費	149,141
		あらぐさ福祉会へ寄付	250,000
計	949,141	計	949,141

第3号議案 2022年度 あらぐさ後援会 役員選出 (敬称略 ・五十音順)

会長：野々下靖子、 副会長：中川千津子・増田康夫、 事務局長：松村誠

会計：安武真理、 会計監査：岩崎京子・大江文子

役員：伊地知有華・岡田利代子・坂本靖子・西井美千代・真殿尊子・三谷文菜